

CITIZEN®

電波時計 取扱説明書 (デジタル電子音目覚まし時計)

お買い上げいただきありがとうございます。
お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読み
のうえ、正しくお使いください。
お読みになった後もお手元に保管して、必要
に応じてご覧ください。

製造販売元 **リズム時計工業株式会社**
〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番12
http://www.rhythm.co.jp

(Y1407)

取扱説明書にそった正常な使用状態で、万が一保証期
間内に故障がおきた場合、本保証書を添えて時計をお
買い上げ販売店にご持参くだされば、無料修理・調整
いたします。尚、本保証書の発行によりお客様の法律上
の権利を制限するものではありません。この保証書は、
お買い上げ店で発行いたします。必ず※印欄の記入・捺
印をお確かめのうえ大切に保管してください。

※品名・型番 **BRZ160**
※保証期間
お買い上げ 年 月 日より 1年間
お客様ご氏名 様
ご住所
TEL() -
※販売店印(住所、店舗名、電話番号)

●本保証書は再発行いたしません。

※印は販売店記入

安全にお使いいただくためにはじめにお読みください

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守って
ください。

図記号の説明 ○は、禁止（してはいけないこと）を示しています。
●は、指示する行為を必ず守ることを示しています。

警告 死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容

● **誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かない**
必ず守る 万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

● **電池からの液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る**
禁止 ●電池に傷を付けない。 ●電池を分解しない。 ●電池をショートさせない。
●電池を充電しない。 ●電池を加熱しない。 ●電池を火の中に入れない。

● **電池から漏れた液に触れない**
●目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療をうけてください。衣服に
付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。
アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。
●液漏れしたときは、電池を取り外して漏れた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が
必要なときは、お買い上げの販売店または当社お客様相談室にご相談ください。

注意 傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容

● **浴室やサウナ、温室など、高温・高湿に**
なる所では使わない
さびや故障の原因になります。

● **ぬれた手で触らない**
故障や誤作動の原因になります。

● **分解や改造をしない**
故障や破損の原因になります。
分解禁止

● **落としたり、たいたいたりして衝撃を与えない**
故障や破損の原因になります。
禁止

● **下記のような場所では使わない**
禁止
性能の低下、部材の変形、変色、劣化、故障の
原因になります。
●直射日光が当たる所。
●温度が+50℃以上の所。
●温度が-10℃以下の所。
●暖房機器からの風が直接当たる所。
●火気のそば。
●ほこりが多く発生する所。
●強い磁気が発生する所。
●車中や船舶、工事現場など振動の激しい所。
●プールや温泉場などガスの発生する所。
●調理場など、多くの油を使用する所。
●ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接触
れさせておくと、色移りや付着、変質をすること
があります。

お手入れについて

- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、
その後、からぶきしてください。
- ケースなどの汚れ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、
使用しないでください。

電池、製品の廃棄

- お住まいの地区自治体の指定に従ってください。
- 廃棄するときは電池と本体を分別してください。

静電気による誤作動について

静電気の影響により、表示の一部が欠けたりして正常に機能しなくなることがあります。このよう
なときは**リセット**を押してください。

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。本製品を使用することによって生じたいかなる
支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いかねますので、ご了承ください。

保証について

- 次のような場合には、保証期間中でも有料修理になりますので、ご注意ください。
 - 1.保証書のご提示がない場合。
 - 2.保証書の※欄に記入・捺印のない場合、字句を書きかえられた場合。
 - 3.お買い上げ店以外の販売店にご依頼の場合。
 - 4.お客様のお手元に渡ってからのお取り扱いや輸送での落下など異常な衝撃による故障、または損傷。
 - 5.天災・火災または異常な塩分・酸・蒸気・熱・有毒ガスなどの影響による故障、または損傷。
 - 6.お客様による修理・改造などが原因で故障した場合。
 - 7.ご使用中に生じる外観上の変化(ケースなどの小キズ)。
 - 8.電池の交換。

送料・出張料は、実費をお客様にご負担願います。
●部品の保有期間などアフターサービスについては、取扱説明書に記載してあります。
●この保証書は国内のみ有効です。
This guarantee is valid only in Japan.
●ご記入いただきました個人情報、時計の修理・調整に関するご連絡に利用させていただきます。
■販売店の方へ
この保証書は、お客様へのアフターサービスの実施と責任を明確にするためのものです。ただし、貴店で別に保証書を発行する場合は、この限りではありません。

電波時計について

電波時計とは

クオーツ時計に標準電波を受信する機能を搭載し、標準電波を受信することにより、自動的に正確な日時に修正する時計です。
標準電波送信所は、福島県の「福島局：おおたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はがね山標準電波送信所」の2カ所にあります。

この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

電波の受信範囲について

送信所から約1200km離れた場所でも受信可能です。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯(昼/夜)あるいは地形や建物の影響など)により、受信できないことがあります。

※標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。
(http://jij.nict.go.jp)

電池の交換について 早めに交換して液漏れを防ぎましょう

● **電池からの液漏れにより、時計の修理や家具などの修繕に費用が発生することがあります。**
● **電池からの液漏れや発熱、破裂を防ぐために、次のことをお守りください。**

- 液晶表示が薄くなった、表示が欠ける、アラーム音が鳴らなくなったときは、速やかに電池を交換するか、電池を取り出す。
 - 動いていても1年に1回定期的に交換する。
 - 古い電池と新しい電池、種類の異なる電池を混ぜて使わない。
 - 電池の⊕⊖を指定と逆向きに入れない。
- ※電池は同じメーカーのおなじ種類の電池を使用することをお勧めいたします。

電池の種類について

- アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。
- 一般に充電式の電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。

電池の寿命について

- 付属の電池は、工場を出荷するときに入れていただきますので、製品仕様より短い期間で電池切れになることがあります。

おもな製品仕様

使用温度範囲 -10～50℃ *結露しないこと
液晶表示可読温度 0～40℃
時間精度 電波受信成功直後の表示精度 ±1秒
標準電波を受信しない場合
平均月差±30秒(5～35℃のときクオーツ精度)
使用電池 単3形アルカリ乾電池 JIS規格 LR6 1.5V 3個
電池寿命 約1年 アラームを音量大で30秒鳴らし、
照明を5秒点灯した場合(1日当たり)
電池交換時期 なし
お知らせ機能
標準電波機能 標準電波受信により自動時刻修正
受信局 福島局 / 九州局自動選択
受信ON/OFF あり
受信回数 1日8回
受信開始時刻 1時から4時、13時から16時の時間帯の16分40秒

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。

- **修理部品の保有について**
電子回路などの修理用性能部品は製造打ち切り後、3年間を基準に保有しています。ただし、ケース類などの外装部品の修理には、類似代替品を使用や現品交換で対応させていただくことがあります。
- **修理可能期間について**
無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料修理が可能です。ただし、修理内容や送料により、修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。
- **転居または贈答品の場合**
お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

この製品のサービスおよび技術サポートは日本国内でのみ利用可能です。
Service and technical support for this product are available only within Japan.

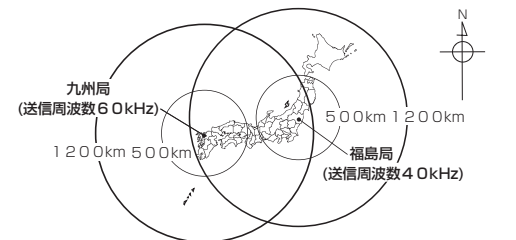
お問い合わせ先 (フリーダイヤル)
お客様相談室 0120-557-005
受付時間 9:00～17:00(土日、祝日および当社休日を除く)
お問い合わせに際しては、製品番号(型番)「BRZ160」をお伝えください。

標準電波の送信停止について

送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外で使用した場合、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った時刻を表示することがあります。海外でのご使用になるときには、電波受信機能をOFFにして手動で日時を合わせてお使いください。

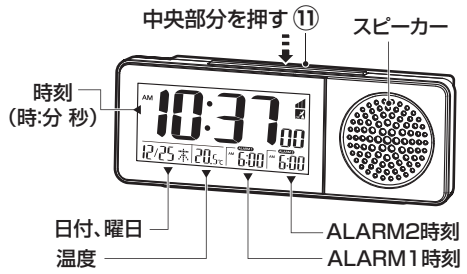


※液晶はその特性上、0℃以下になると表示反応が遅くなったり、表示が薄くなる場合があります。40℃以上になると表示が濃くなったり、ムラに見えることがあります。
※液晶表示板は5年を過ぎると、コントラストが低下して数字が読みにくくなる場合があります。
※製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

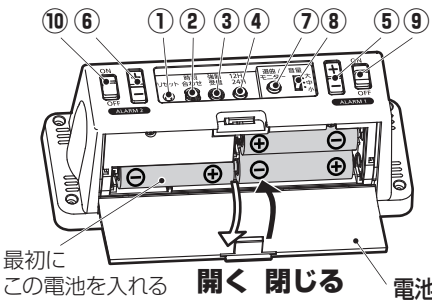
付属品 電池 3個、取扱説明書・保証書 本書

各部の名称と役割

※図は操作説明用ですので、実際のものとは異なることがあります。



※液晶の表示は見る方向により薄くなったり、ムラになったりします。



- ①リセット —— 誤作動を防ぐために電池を入れた直後に押す。押すと2013年1月1日午前12:00アラーム時刻午前6:00になります。
- ②時刻合わせ —— 手で日時に合わせるときに使用。
- ③強制受信 —— すぐに電波の受信を開始させたいときに押す。
- ④12H/24H —— 時刻表示形式を切り替えるときに押す。
- ⑤ALARM1+/- (アラーム1 +/-) —— アラーム時刻や手で日時を合わせるときに使用。
- ⑥ALARM2+/- (アラーム2 +/-) —— 使用。
- ⑦選曲/モニター —— アラーム音の試聴、選択をするときに押す。
- ⑧音量 —— アラーム音量は大、中、小の3段階から選択。
- ⑨ALARM1 —— アラーム1のON/OFFスイッチ。
- ⑩ALARM2 —— アラーム2のON/OFFスイッチ。
- ⑪スヌーズ —— アラーム音の一時停止。ライトボタン兼用。

注意

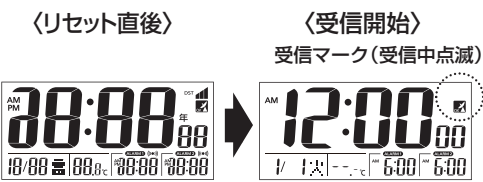
電池は、必ず電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて入れてください。指示と逆向きに入れると液漏れ、発熱、破裂の原因になります。

電池ふたを開閉して電池のセットしてください。

1 電池を入れて標準電波を受信して日時を合わせる

標準電波を利用しないで、手動で日時を合わせるときには、**手動での時刻合わせ**をお読みください。

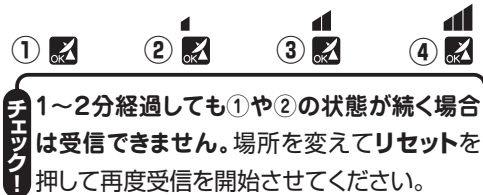
【受信の流れと表示】



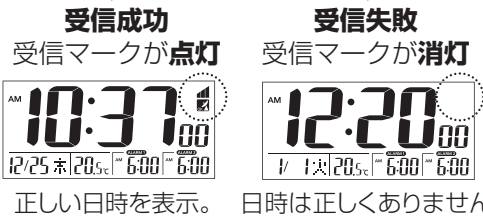
電源投入直後およびリセットを押した直後は、2013年1月1日 午前12:00、アラーム時刻 午前6:00に設定されます。

受信中の受信マークの変化（電波サーチ機能）電波の状態により変化します。

受信できない → 受信しやすい



受信終了まで最長20分待つ



標準電波を受信できない場合

●朝までそのままにしておく
一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておく受信できる可能性が高くなります。

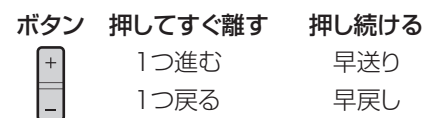
●場所を変える／受信をやり直す
ベランダや電波の受信しやすい窓ぎわで取扱説明書の日本地図を参考に、電波の送信所に時計の正面または裏面が向くように置き直し、リセットを押して結果を確認します。

標準電波を受信できないときは、手動で日時を合わせてご使用ください。

手動での時刻合わせ …… 電波が受信できないとき、任意の日時に合わせるとき

操作例に従って、西暦年、月、日、時刻（時、分）の順に設定してください。

年、月、日、時刻（時・分）でのボタン操作
点滅している数値を+または-で合わせてから時刻合わせを押します。



+と-のボタンは、アラーム1と2の両方を使用することができます。

●約30秒間ボタン操作を中断すると、表示されている内容で設定を終わります。

●アラーム時刻またはアラームマークが点滅しているときは、日時の設定はできません。

●標準電波を受信できないときの時間精度は、クォーツ精度になります。

操作例 2014年12月25日 午前10:37に合わせる

- ①年 —— 西暦年が点滅するまで時刻合わせを約2秒間押し続ける
 - ②西暦年を合わせる
 - ③月を合わせる
 - ④日を合わせる
 - ⑤時を合わせる —— 12時間表示のときはAM(午前)/PM(午後)表示に注意してください。
 - ⑥分を合わせる —— ※時、分のときに+または-を押すと秒が00になります。
- 以上で設定は終わりです。

2 アラーム機能を使う

重要 アラームは非常に大きな音で鳴ります。次のことに注意してください。

- 耳の近くで鳴らしたり、大音量で長期間使い続けたりすると難聴などの聴覚障害になるおそれがあります。
- 建物の構造などにより室外に音が漏れることがあります。ご近所迷惑にならないように音量や置く場所などにご注意ください。

アラーム1と2、2つのアラーム時刻を設定して使用することができます。

○アラームが鳴っているときに、もう一方のアラーム時刻になったときは、後からのアラームがスヌーズとオートストップ機能の対象になります。

○アラーム1、2のアラーム音の種類と音量は同じ設定になります。

※アラーム状態（アラームが鳴っている、アラームマークが点滅している）のときはアラーム時刻を設定することはできません。アラームスイッチ1と2両方をOFFにしてから設定してください。

■アラーム1と2の設定手順は同じです。下記の説明はアラーム1の例です。

設定するときは、アラーム1、2それぞれの+/-、アラームスイッチを使ってください。

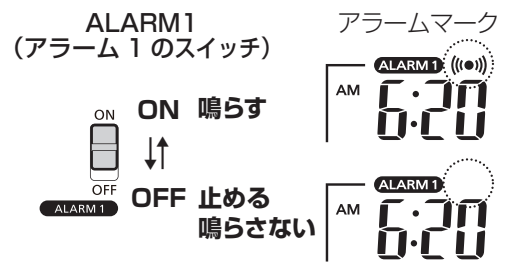
1 アラーム時刻を合わせる

- ①+または-を押してすぐ離す
アラーム時刻が点滅します。
- ②+または-でアラーム時刻を合わせる
ボタンを押してすぐ離すと1分進む、押し続けると1分戻る、押し続けると早送り、押し続けると早戻し。
- ③約5秒間ボタン操作をしないと設定を終わる



2 アラームのON/OFF設定

ONにするとアラームマークが点灯します。



アラームご使用上の注意

アラームスイッチをOFFにしないと毎日アラームが鳴ります。使用しないときは必ずOFFにしてください。

電波受信機能のON/OFF切り替え

■受信機能 OFF（標準電波を受信しない）
リセットを約1秒間隔で3回押してください。
○OFFになるとリセットまたは強制受信を押しても受信マークが表示されません。
○日時は手動で合わせてください。

■受信機能 ON（標準電波を受信する）
-を押しながら、リセットを押すと受信を開始します。その後-を離します。
標準電波を定期的受信して標準時に合わせます。
※受信機能は、電池を抜いて回路内に電荷がなくなるとONになります。
※受信機能がONの場合、手動で日時を合わせても受信に成功すると日時を修正します。
※操作のタイミングによっては、ON/OFFが切り替わらないことがあります。このようなときには操作を繰り返してください。

強制受信について

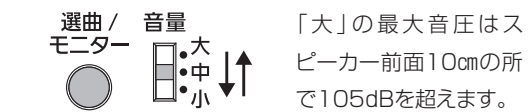
設置場所を移動したときなどに、強制受信を押すと受信を開始します。受信に失敗しても日時やアラーム時刻は継続して表示します。
アラームが鳴っているときやスヌーズ中、日時またはアラーム時刻を設定しているとき、受信機能がOFFになっているときは強制受信を押しても受信を開始しません。

3 アラーム音の選択と音量の選択

必ず音量を「小」にしてからアラーム音と音量を選択してください。

アラームの鳴り始めは小さく鳴り、段階的に大きくなります。音量の位置により、鳴り始めの音量と最大音量は変わります。

- アラーム音は3種類収録されています。
- 選曲/モニターを押している間、鳴り続けます。
- 選曲/モニターを押すたびに音が切り替わり、最後に試聴した音がアラーム時刻に鳴ります。



○オートストップ機能（自動鳴り止め）
鳴っているアラームを放置すると約2分で止まります。

○スヌーズ機能（止めてもまた鳴る）
アラームが鳴っているときに、スヌーズを押すと、アラームマークが点滅して約5分間アラームが停止してからまた鳴り出します。
この操作は7回まで繰り返すことができます。
8回目にスヌーズを押すと、アラームは止まり、アラームマークは点灯表示になります。

表示部の照明について

スヌーズを押すと表示面が約5秒間照明されます。照明は、段階的に暗くなり消灯します。
※照明をしたときは、時計上方より見てください。他の方向からは読み取れなくなります。

時刻表示形式の切り替え

12H/24Hを押すと表示形式が変わります。
12時間表示 24時間表示
3:37 PM → 15:37
AM(午前)/PM(午後) (00:00~23:59)
電波の受信中、アラームや日時の設定中、アラーム状態のときは表示形式を切り替えることができません。

温度表示について

本製品は一般的な家庭やオフィスなどの室内用です。センサーが本体内部にあるため、表示に反映するまでには時間がかかります。
直射日光が当たる場所や冷暖房器具、加湿器、除湿器などの近くでは、室内の温度を反映しにくくなります。また、設置する高さによっても温度が変わります。
※厳密な温度管理や温度の証明などには使えません。

■測定範囲を超えたときの表示とその意味
「HH.H」50℃より高温 「LLL」-9.9℃より低温